

熱中症対策の取り組みについて

株式会社 大神産業

2024年6月吉日

対象期間：2024年6月中旬～10月上旬

1. はじめに

近年、地球温暖化の影響により、猛暑日が増加しており、熱中症による健康被害が深刻化しています。特に、職場における熱中症は、労働災害にもつながるため、企業にとって重大な問題となっています。**株式会社大神産業**における熱中症対策の取り組みについて、以下の内容を詳述します。

- 熱中症対策の重要性
- 熱中症対策の目標
- 具体的な対策内容
- 課題と今後の取り組み

2. 熱中症対策の重要性

熱中症は、体内の水分や塩分バランスが崩れ、体温が極端に上昇することで引き起こされる疾患です。重症化すると、死に至る場合もあり、近年では高齢者や子供だけでなく、若者も発症するケースが増加しています。職場における熱中症は、労働者の健康被害だけでなく、生産性の低下や労災発生による企業への経済的な損失にもつながります。また、企業イメージの悪化や従業員の離職にもつながる可能性があります。

3. 熱中症対策の目標

株式会社大神産業では、以下の目標を掲げ、熱中症対策に取り組んでいます。

- 従業員の熱中症による健康被害をゼロにする
- 熱中症リスクを低減し、安全で快適な職場環境を実現する
- 従業員の健康意識を高め、自主的な熱中症対策を促進する

4. 具体的な対策内容

①暑熱環境の把握

- 気温、湿度、WBGT 指数などを測定し、暑熱環境を把握します。

②暑熱環境の改善

- 空調服・インナー・シャツミスト等を配布し、風通しを良くする服装にします。
- ヘルメットに日よけカバーを装着し、直射日光を遮断します。

③作業時間・休憩時間の管理

- 定期的に休憩時間を設け、水分補給や涼しい場所で休憩を取るようにします。
- 長時間労働を避け、こまめに休憩を取るようにします。

④水分・塩分補給

- 水分や塩分をこまめに補給するように周知徹底します。
- 冷たい飲み物や塩飴タブレットなどを用意します。
- 経口補水液を準備し、事前に補給するようにします。

⑤健康状態の観察

- 従業員の体調に注意を払い、熱中症の兆候がないか観察します。
- 暑さを感じている従業員には、休憩を取るように促します。
- 体調が悪い従業員には、無理せず休暇を取るように促します。

⑥教育・啓発

- 熱中症予防に関する教育を実施し、従業員の熱中症に関する知識を高めます。
- 熱中症予防啓発資料を回覧し、各自知識を高めます。
- 熱中症に関する情報発信を行い、従業員の意識を高めます。

5. 課題と今後の取り組み

株式会社大神産業の熱中症対策における課題は以下の通りです

- 全従業員への周知徹底が十分ではない。
- 個々の体調や体質に合わせた対策が十分ではない。
- 現場での対策が徹底されていない。

これらの課題を克服するため、以下の取り組みを進めていきます。

- 熱中症予防に関する教育をさらに充実させる。
- 熱中症予防商品を従業員からの要望を聞き準備します。
- 個々の体調や体質に合わせた対策を検討する。
- 現場での対策を徹底するための指導・監督を強化する。

6. 結論

株式会社大神産業では、従業員の健康を守るために、熱中症対策に積極的に取り組んでいます。

7. その他

※工事部従業員へ配布する商品

- ①空調服
- ②夏用インナー（シャツ）
- ③ヘルメット装着用カバー
- ④シャツミスト
- ⑤ボディシート
- ⑥塩分チャージ（塩分飴）
- ⑦経口補水液 OS-1（水タイプ・ゼリータイプ）
- ⑧各車両にクーラーBOX
- ⑨首掛け扇風機